

【研究課題名】 患者支援センター入院支援科における患者休薬のリスク因子の評価
-休薬忘れによる手術延期のゼロ化に向けて-

1. 研究の対象

2019年4月～2020年3月の間に当院患者支援センター入院支援科にて、手術及び侵襲的な処置のため休薬が必要となり薬剤師による説明を施行された患者及びご家族

2. 研究目的・方法

2016年度より患者支援センター入院支援科が設立され、その中で薬剤師は年間約4000件の侵襲的な検査や手術の予定入院患者の使用薬剤を確認し、約800件の抗凝固薬を中心とした入院前に中止が必要な薬剤に関して中止の説明を行っている。

しかし、患者要因で適切な休薬がされないインシデントが年間約10件発生している。その場合、検査や手術を延期する等の対応が取られ、適切な治療開始の遅延が生じるため、これを防止することが求められる。そのため、どのような患者で休薬インシデントが多いかを調査する。

研究実施期間：研究機関の長の許可日 ～ 2023年12月31日まで

3. 研究に用いる情報の種類

情報：診療録による性別、年齢、薬剤数、一包化の有無、自宅（ステイ先）での薬剤管理者、オリエンテーション時の同席者の有無、オペ又は処置施行までの期間

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代諾者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

山梨県立中央病院 薬剤部 遠藤 愛樹

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号 TEL：055-253-7111（代表）